



Title	彙報
Author(s)	
Citation	懷徳. 1980, 50, p. 62-63
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90590
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙報

（懷德堂記念会）

○吉川幸次郎氏（事業運営委員）昭和五十四年四月八日逝去。
謹んで哀悼の意を表す。

○秋季講座 昭和五十四年十月十五日（月）より二十日（土）まで、本会及び大阪大学文学部主催、朝日新聞社後援で、大阪大学松下会館四階講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、第五十九回懷德堂講座開講、聴講者延二百九十人。

演題と講師

元祿の社会

大阪大学助教授 脇田 修氏

自然科学者としての中井履軒の業績

大阪大学名誉教授 伴 忠康氏

中世の寺院生活

大阪大学教授 黒田 俊雄氏

光明皇后願文にみえる天平の明暗

同 井上 薫氏

（五日目台風のため休講）

寛政異学の禁と大阪の儒者

四天王寺女大助教授 宮城 公子氏

○記念祭典 昭和五十四年十月二十九日（月）大阪大学松下会館四階講堂に於て、午後一時より祭典執行、終って大阪大学

教授矢守一彦氏の「城下絵図について」と題する記念講演があった。

○昭和五十四年十月三十日 宮本又次氏（阪大名譽教授）理事就任。

○昭和五十四年十月三十日 天野利武氏（阪大名譽教授）評議員就任。

○昭和五十五年三月三十一日 理事岡部健彦氏退任。

○昭和五十五年四月一日 宮地裕氏（阪大文学部部長）理事就任。

○春季講座 昭和五十五年五月十九日（月）より二十四日（土）まで、本会及び大阪大学文学部主催、朝日新聞社後援で、大阪大学松下会館四階講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、第六十回懷德堂講座開講、聴講者延三百五十八人。

演題と講師

批判者の思想―春秋―

大阪大学教授 日原 利国氏

論語集解をめぐって

大阪教育大学教授 田中 利明氏

論語 二章

京都大学教授 尾崎雄二郎氏

康有為と「新学偽経考」

関西大学教授 坂出 祥伸氏

晋代の儒者

愛知教大教授 野村 茂夫氏

詩経の興について

四天王寺女大教授 西村富美子氏

○懷德堂記念扇子調製 昭和五十五年十月

三宅春楼先生墨迹

此地別燕丹 壮士髮衝冠

昔時人已没 今日水猶寒

（堂友会記事）

昭和五十四年十月三十日 懷徳第四十九号発行

昭和五十四年十一月十一日 滋賀県東南部、水口、甲西、甲南

方面、上乘寺、飯道寺、新宮神社、伊勢回寺、八坂神社、千光寺、永昌寺の見学会をなす。御指導は宇野茂樹文学博士で参加三十九名、毎々乍ら一同御懇切な御教示で満足して秋の一日を楽しむ。

昭和五十五年四月十三日 滋賀県北部竹生島と彦根城へ、汽船を仕立てて、彦根港から竹生島へ渡り、宝厳寺と弁財天堂、都久布須麻神社を、彦根市では彦根城を夫々に十二分に見学し、宇野先生の御懇篤な御説明の許に極めて有益な結果を得させて頂き、集会者一同楽しい一日を過ごした。参加者三十九名。

七月の十二日と十三日にわたり、滋賀県東南部から三重県の西北部にかけて大岡寺（隠岐）、長福寺、三上六所神社を経て、かもしか荘に一泊、翌日は慈恩寺、新大仏寺、観音提寺を拝観見学をなす。非常に有益な且つ愉快な時を過ぎて頂き、宇野先生の御解説には皆々心からなる深謝を奉る。参加者は三十七名。

本年度中藤本一太郎氏が亡くなられ、謹んで哀悼の意を表す。次に本会に復々多大の御寄附を賜わりし方々に對し、満腔の謝意を表する。木村会長先生御夫妻、楠本宗平様、苗村末三郎様。

新入会の方々、宇野せい子、上松真佐子、笠井世幾子、木原鈴子、木村みよ子、清滝君子、小西耕岳、逆瀬允吉、佐々木京子、佐々木俊子、清水喜美子、清水英、田中秀郎、中川藍子、中島衣恵、中野利明、仲原富子、中村久子、西岡秀子、西山富美子、福岡君代、東野正子、米沢貞子、藤本善市郎、脇田修（以上二十五名様敬称略）
退会の方々、大塚昌久、牧野悦子、坂東桂子、山口秀樹、山口雅弘（以上五名様）
（中島記）

会費を御送金の場合は、左記に御振込み下さい

懷徳堂堂友會

振替番号 大阪六一〇八